

タイ国の開発ニーズ

- 高齢化社会が急速に進んでいるタイにおいて、慢性疾患予防管理および長期療養可能な保健医療供給体制の確立が急務。
- タイに限らず周辺のASEAN諸国においても、糖尿病、腎臓病等の増加は保健医療分野で大きな課題となっている。

普及促進事業の内容

- タイの2拠点病院の透析室に水の前処理のための本格的な実証設備並びに透析用留置針等をはじめとする日本製の透析関連製品を導入して実証活動を行いながら、初期の透析トレーニングセンター並びにショーケースとして立ち上げる。
- ASEANからの当該分野の専門家を招聘し、日本の透析医療の現状把握と「透析液の清浄化」メカニズムについて学び、日本製品の導入についての知識をより深める。

提案企業の技術・製品



製品・技術名

- ・中空糸型精密膜濾過装置
- ・透析用留置針

事業のポイント

- ・タイの2拠点病院へ、日本の透析技術を普及すべく、水の前処理のための精密膜濾過（マイクロプラント）の実機規模装置の据付・試験検査と、現在使用されている金属針よりも、身体に負担の少ない透析用留置針の臨床評価を行う。

タイ国側に期待される成果

- タイの2拠点病院の医療従事者が、透析室に導入されたマイクロプラント実機規模装置による水質向上、安定供給の実証活動に参加し、その分析方法と意義について学び、日本式の透析関連製品、特に留置針の使い方を習得し、その有効性を理解する。
- タイの透析技術者の能力が向上し、透析医療サービスの質が改善することが期待される。

日本企業側に期待される成果

現状

- 濾過装置、留置針ともに国内外で高いシェアを保持しているが、糖尿病、腎臓病等が増加傾向にあるASEAN諸国については、透析医療水準が低く、透析用水の清浄化等理解が及んでいないために、市場を取り込めていない

今後

- タイの2拠点病院をモデルとして、日本の透析技術と有効性の理解を広めていくことで、人口合計5.3億人にのぼるASEAN諸国でのビジネス展開がより拡大されることが期待される。